



令和3年度

自然再生士資格試験 受験の手引き



〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル
TEL 03-3585-3561 FAX 03-3582-7714

<http://www.jpgreen.or.jp>

令和3年度 自然再生士資格試験 受験の手引き

< 目 次 >

1. 自然再生士資格制度の概要

(1) 「自然再生士」とは.....	1
(2) 自然再生士資格制度の基本構成	1
(3) 自然再生士資格試験スケジュール	2

2. 自然再生士資格試験の案内

(1) 受験資格	3
(2) 自然再生士資格試験	3
(3) 受験手続き	4
(4) 試験内容	5
(5) 試験会場	6
(6) 受験に際しての注意	8
(7) 合否判定	8
(8) 登録・認定	9
(9) 登録更新・再認定	9

3. 受験申込書の記入について

(1) 記入方法	10
(2) 申込書等の書式	13

1. 自然再生士資格制度の概要

(1) 「自然再生士」とは

「自然再生士」とは、自然再生に必要な知識・技術・経験を有する、自然再生の推進者です。

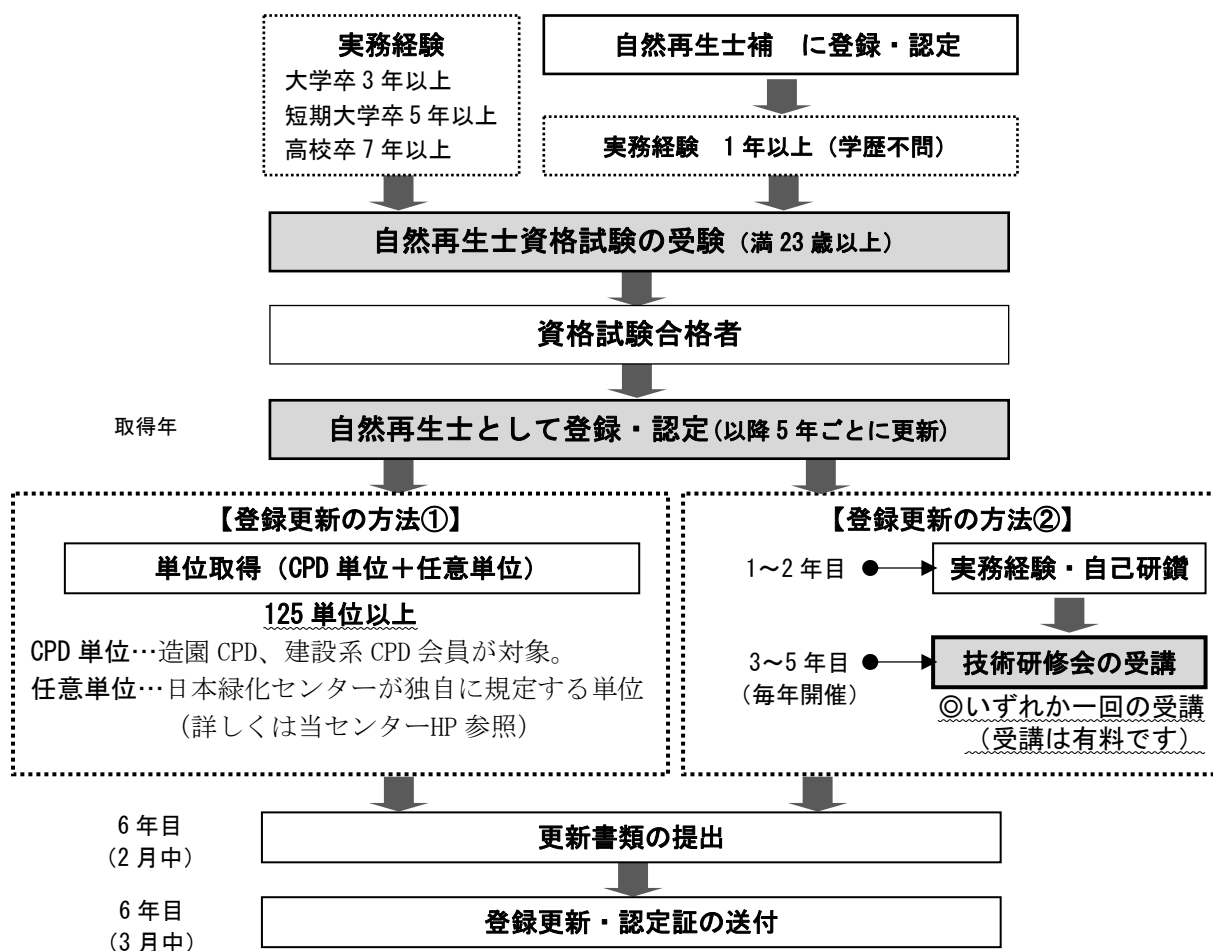
「自然再生士」には、自然再生に係る事業全体を把握し、調査・計画・設計・施工・管理の、各々の事業段階において行われるべき業務や活動において、これに係わる人々をコーディネートするとともに、自ら担当する自然再生を実行できる能力が求められます。

<資格名称>

自然再生士

Nature Restoration Promoter

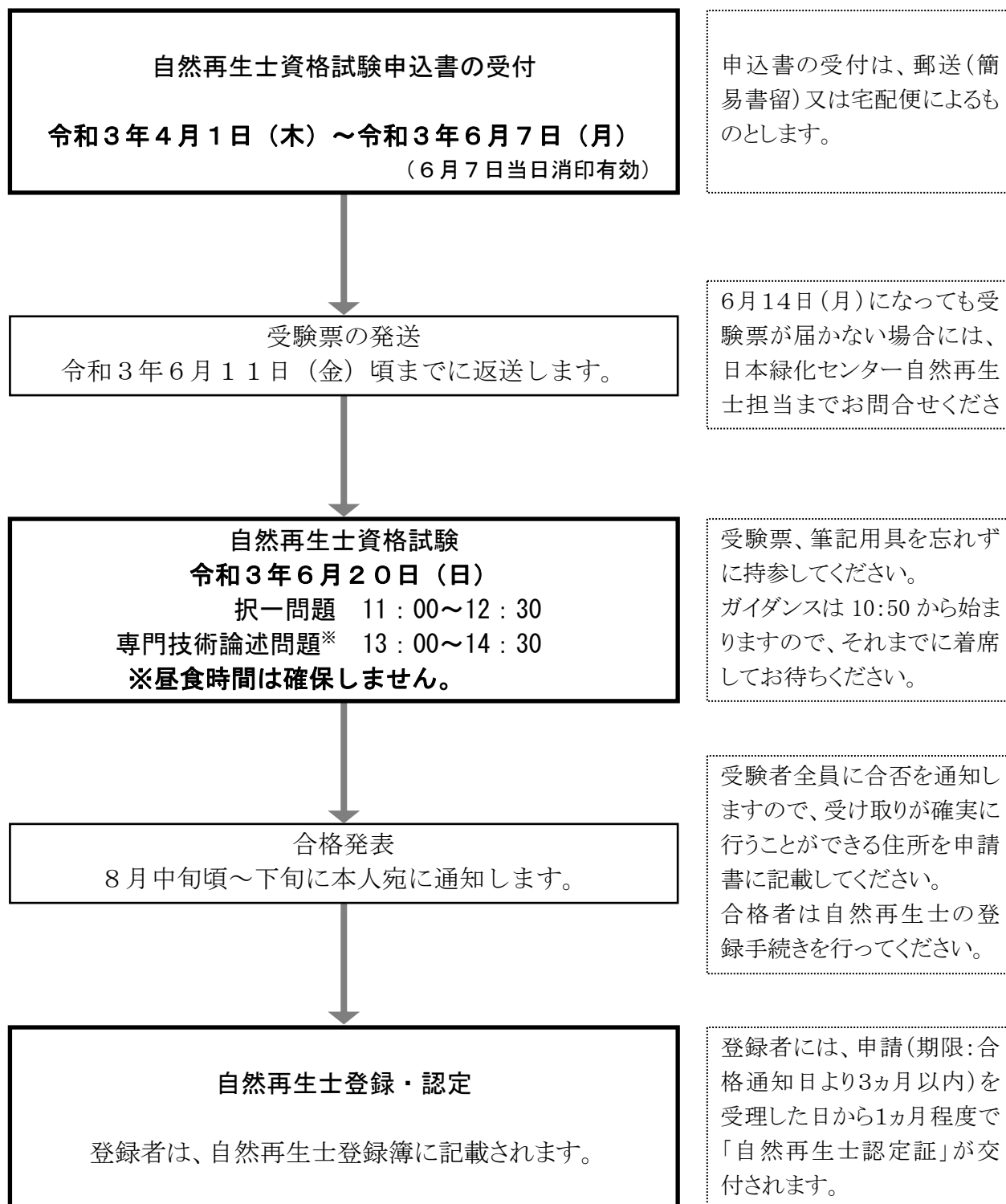
(2) 自然再生士資格制度の基本構成



※技術研修会の受講とは、年 2 回開催される「自然再生技術研修会」(令和 3 年度以降は、現場実習と WEB セミナーを併用予定)を指し、その他、全国の自然再生実践地で行われる「自然再生実地研修」への参加も含まれます。

自然再生士制度の仕組み

(3) 自然再生士資格試験スケジュール



※試験会場での論述式試験解答は、専門技術論述問題のみとなり、経験論述問題の解答は、事前提出となります。

この事前提出の経験論述解答は、採点対象となります。

2. 自然再生士資格試験の案内

(1) 受験資格

満23歳以上（受験年度の4月1日時点）の方で、自然再生に係る以下の実務経験年数を有する方が受験できます。

- ① 大学卒 3年以上
- ② 短期大学卒 5年以上
- ③ 高校卒 7年以上
- ④ 自然再生士補 1年以上

注)

- ・自然再生に係る実務経験には、卒業後のボランティア活動や調査・研究、人材育成（環境教育等）、大学院在学期間中に行われた活動や研究も含まれます。
- ・自然再生セミナーを修了し自然再生士補の認定を受けた方で、卒業後1年以上で満23歳以上の方については、自然再生士補の認定を受ける以前の実務経験（上記要件）も含まれます。
- ・認定校制度により自然再生士補の認定を受けた方で、卒業後1年以上の実務経験（大学院在学期間中に行われた活動や研究を含む）を言います。

なお、大学院在学中に前年度の10月期に補資格認定を受けた場合は、その年度の4月にさかのぼり、1年間の実務経験として認められます（ただし満23歳以上であること）。

(2) 自然再生士資格試験

試験日時	令和3年6月20日（日）11：00～14：30
集合時間	10：50 からガイダンスが始まりますので、受験番号によって指定された位置に着席してお待ちください。
入室時間	10：30 から入室できます。時間にゆとりを持ってお越しください。
試験会場	東京会場：リファレンス新東京ビル貸会議室 B1F 〒100-0006 東京都千代田区丸の内 3-3-1 新東京ビル 地下1階

<時間割>

時間	内容
10：50～11：00	ガイダンス
11：00～12：30	択一問題
12：30～13：00	休憩（昼食時間は確保しません）
13：00～14：30	専門技術論述問題

※経験論述問題は、資格試験申込時に既定の答案用紙に記入して提出します。
 ※感染症対策を強化するため、昼食時間は確保しません。
 試験会場内・敷地内での食事は一切できませんのでご了解願います。

(3) 受験手続き

1) 受験手続に必要な書類等

- ① 自然再生士資格試験申込書（様式第1号）（p13）
 - ・貼付する写真は本人単身、無帽、胸から上、最近6ヵ月以内撮影のものとし、裏面には、氏名、本籍地を油性ペンで記入してください。
- ② 実務経歴書（様式第2号）（p15）
- ③ 経験論述（様式第3号）（p17・19） **※事前提出が必須です。**
HPからも入手可能です。URL: <http://www.jpgreen.or.jp/saiseishi/p05.html>
- ④ 自然再生士補の方は、自然再生士補認定証の写しを本書類に添付してください。
- ⑤ 受験手数料の振込証明書（所定の欄に貼付）
- ⑥ 写真 2枚
 - ・①1枚は（様式第1号）に貼付して下さい。その写真と同じものを、もう1枚クリップ止めしてください。
 - ・写真の裏面には、氏名、本籍地を油性ペンで記入してください。
- ⑦ 郵便ハガキ（受験票用）1枚
 - ・表面に宛名[受験者本人の郵便番号・住所・氏名]を必ず明記してください。
 - ・住所の表記は正確に、マンション名、部屋番号を明記してください。
 - ・裏面は無地で、絵葉書等裏面印刷ができないものは不可とします。

※受験番号及び受験会場を印刷し、6月11日頃までに返送いたします。

2) 受験手数料のお振り込み

※受験手数料は次に示す通り、自然再生士補の認定の有無により異なります。振込手数料は払込者の負担となります。

① 受験手数料

一般受験者・・・・・・・・・・15,000円（税込）

自然再生士補認定者・・・・・・12,000円（税込）※認定書の写しの提出が必須

② 振込先 三井住友銀行 東京公務部

《受験手数料の振込先》

振込銀行名	三菱 UFJ 銀行 東京公務部(300)
預金の種別	普通預金
口座名	ザイニホンリヨツカセンター
口座番号	0000393

又は郵便振替

口座記号	00160-8-515263
口座番号	
加入者名	一般財団法人 日本緑化センター
通信欄	自然再生士資格試験

※受験手数料は、原則として当方の責により受験できなかった場合や、感染症の診断を受け受験を回避した場合（医師による証明書の提出が必要です）を除き、返還いたしません。ただし、書類審査の段階で受験資格がないと判断された場合には、書類審査に係る審査料(3,000円)と返金に必要な手数料を除いた額を返金します。

3) 申込書の受付

- ① 申込書の受付は、郵送（普通郵便または簡易書留）によるものとします。
- ② 受付期間 令和3年4月1日（木）～令和3年6月7日（月）
（当日消印有効）
- ③ 送付先 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル 2階
一般財団法人 日本緑化センター 自然再生士事務局 宛

(4) 試験内容

試験内容と配点

設問内容	時間	問題数	配点
1) 択一式	11:00～12:30 (90分間)	30題 4者択一	60点満点 (1題2点)
2) 専門技術論述	13:00～14:30 (90分間)	5題の内2題選択 800字(1題400字)	30点満点 (2題合計)
3) ※経験論述	※資格試験申込み時事前提出（必須）		1題 800字 10点満点

1) 択一問題

択一問題は、以下の分野から出題されます。

※陸域生態系から水域・海洋生態系に関わる内容を含みます。

- ① 自然再生総論
- ② 計画・設計
- ③ 施工・管理
- ④ 生態系(植物、鳥類、昆虫など)
- ⑤ 技術者倫理・関連法規

2) 専門技術論述問題

専門技術論述問題は、以下の分野から出題される問題から、2題を選んで、1題あたり400字以内で論述します。

- ① 企画・計画分野
- ② 設計・設計監理分野
- ③ 施工・施工管理分野
- ④ 維持管理分野
- ⑤ 市民活動分野

3) 経験論述 ※自然再生士資格試験申込み時に事前提出（必須）

経験論述問題は、実務経歴書（様式第2号）に記載された実務経験の中から1つを選んで、規定の用紙に800字以内で記述し事前に提出します。

実務経験は、職業等として行っている業務(調査・研究を含む)・ボランティア活動等市民参加型社会活動・人材育成活動（環境教育を含む）に係る内容を含むものとします。

(6) 受験に際しての注意

1) 受験に必要なもの

試験中は、以下のもの以外はカバン等にしまってください。

- ① 受験票（机の受験番号の下に、試験監督員に見えるように置いてください）
- ② 筆記用具（黒色の鉛筆（B）、シャープペンシル（B）、消しゴム）
- ③ 時計（スマートフォン等は不可） 端末に接続が可能な腕時計も不可とします。
会場に設置される時計を基準とします。
- ④ その他（一財）日本緑化センターが許可したもの

2) 受験に際しての注意事項

試験会場等における注意事項

- ①試験当日は、10:30 から入室可、10:50 からガイダンスが始まります。時間に余裕をもって早めに来場してください（会場により入室時間に変更になる場合があります。詳しくは受験票をご確認ください）。
- ②試験開始から 30 分（11 時 30 分）までの遅刻は認めます。それを超えた場合は受験できません。
- ③試験当日は受付の必要はありません。受験票に明記された受験番号の席に着席し、受験票を机上の受験番号札の下側に試験監督員から見えるように置いてください。
- ④受験票を忘失した方は、必ず受付で再発行を受けてください。受験票がないと受験できません。来場の際は必ず身分を証明できるもの（写真等で本人を特定できるもの）をお持ちください。
- ⑤試験室内では試験監督員の指示に従ってください。指示に従わない場合は「退去」を命じたうえ「失格」となる場合があります。試験室内における空調機器の調節も試験監督員が行います。
- ⑥試験室内は禁煙です。休憩中の喫煙は定められた場所以外では厳禁です。
- ⑦試験中、ペットボトルとキャップ式缶ボトルの利用はできます。プルタブ缶、テイクアウト式紙コップ、プラスチックコップは不可とします。保温ケースや水筒は、カバンに収納いただきます。
- ⑧昼食時間は確保しません。試験会場内・敷地内での食事は一切できません。

試験時の注意事項

- ⑨不正手段を用いて受験した者は、即刻退去を命じます。さらに、不正行為を行った者は、その後 2 年以内の受験が禁止されます。
- ⑩試験中、スマートフォン等の通信機器・電子機器は使用できません。
- ⑪試験開始後 30 分以内、および試験終了 10 分前からは途中退室ができません。
- ⑫試験が終了し途中退室をする場合には、試験問題と解答用紙を重ねて机の上にふせて置き、荷物をすべてお持ちのうえ退室してください。退室後は再入室できません。
- ⑬試験問題は持ち帰ることができません。

感染症対策を講じながら受験生の皆様に安全、安心な状況で受験いただきます。
次の感染症対策の基本方針を熟読したうえで受験いただくようお願いします。

試験における感染症対策の基本方針

感染症対策のため、受験生の皆様が安全に、安心して受験ができるように、次の点を正しく理解し、ルールをお守りください。ルールを守れない方は、受験することができません。

事務局の対応

- ・試験中は、事務局全員がマスクの着用を徹底します。
- ・スタッフ、受験生の検温を実施します。
- ・受験生に咳やくしゃみ等の症状が発生した場合の対応を徹底します。
- ・アルコール消毒薬を設置し、出入りの際は手指消毒を徹底します。
- ・座席の配置については、受講者同士のソーシャルディスタンスを確保いたします。
- ・試験問題の配布、回収作業にあたってはゴム手袋を着用し、適宜、交換します。
- ・試験会場は定期的にドアや窓を開放し、換気扇による送風又は冷房・換気運転により空気の入替を行います。

受験できないケース(以下に該当する場合は受験することはできません)

- ①当日自宅で検温を実施し、37.5 度以上の発熱があった場合（あるいは平熱より 1 度以上高温の場合）
 - ②発熱をしていない状態でも、息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、味覚・嗅覚障害、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状や心身の不調を感じる場合
 - ③同居家族に感染者が発生した場合
 - ④感染者の濃厚接触者として自宅待機の指示を受けている場合
 - ⑤過去 14 日以内に政府から入国制限または入国後の観察期間を必要とされている国・地域などへの渡航履歴がある場合、もしくは該当者との濃厚接触がある場合
- ※感染症の診断を受け受験を回避した場合（医師による証明書の提出をお願いします。）
以外の受験料の返金はできませんのでご了解願います。

試験日当日～試験中

- ①当日、自宅で検温を行い受験票に検温した時間と体温をご記入のうえ来場してください。
その段階で 37.5 度以上の発熱があった場合は受験はできません。なお、会場の入口で当センター職員がセンサー式検温器による検温を全員に行い、熱があると判定された場合は、再度、個別に非接触式体温計により検温を行います。
この段階で、37.5 度以上の体温が確認された場合は、樹木医試験を受けることができません。
- ②試験会場には必ずマスク着用でお越しください。マスクを着用していない方は、試験会場に入ることができません。なお、フェイスシールド(ガード)、マウスシールド(ガード)のみでの受験はできません。マスクの着用にあたっては、しっかり鼻まで覆うように装着してください。
マスクは、水分補給のために外す以外は必ず常時着用をしてください。
- ③入室前に手・指先の消毒を必ず行ってください。
- ④試験会場内では、咳エチケット、手洗い、消毒を徹底の上、マスクを外しての会話、大声や近距離での会話を慎むようにしてください。
- ⑤試験会場内では、文具の貸し借り等のご遠慮ください。
- ⑥使用したマスクやティッシュ等は、必ずご自身でお持ち帰りください。

上記ルールを守れない方は、受験することができませんので注意してください。

(7) 合否判定

設問内容	問題数	配点	合格基準
①択一式	30題(4択式)	60点満点 (2点/1題)	30点以上 (50%以上)
②専門技術論述	2題(5題から選択) (400字/1題)	30点満点 (15点/1題)	合計得点が 20点以上 (50%以上)
③経験論述	1題(800字/題)	10点満点	
合計点(総合点)		100点	合計得点が 60点以上

(8) 登録・認定

1) 合格発表

- ・令和3年8月中旬～下旬頃、受験者に合否通知書を郵送します。
- ・電話による合否の問い合わせには応じかねますので、ご了承ください。

2) 登録申請

- ・合格者に対して、自然再生士登録手続きの案内を行いますので、合格通知日より3ヵ月以内に登録の手続きをお願いします。
- ・登録手数料は11,000円(税込)です。
- ・登録者は、自然再生士登録簿に記載されます。

3) 認定書の送付

- ・登録者には、概ね10月中旬から下旬頃を目途に「自然再生士認定証」が交付されます。

(9) 登録更新・再認定

1) 初回登録更新

- ・自然再生士として認定を受ける有効期間は5年間です。
- ・登録更新手数料は11,000円(税込)です。
- ・登録者は、以下に示す2つの方法により、登録更新・再認定を受けることができます。
- ・詳細は、当センターHPをご覧ください。か、更新手続きが必要となる年度にご案内します。

【方法①】単位取得(125単位)による方法

⇒「造園CPD単位」と、「その他建設系CPD単位」および「任意単位」等を合計して125単位以上の取得により、自然再生士の登録更新を行う方法です。

【方法②】『技術研修会等』の受講による方法

⇒技術研修会等とは、自然再生士の資格取得者を対象に、自然再生、環境保全、生物多様性に関連する知識、能力、技術力の向上を目的として、実践的なカリキュラムで行う研修会のことです。この研修会等の受講により、自然再生士の登録更新を行う方法です。

3. 受験申込書の記入について

(1) 記入方法

1) 自然再生士資格試験申込書（様式第1号）

① 試験会場

令和3年度の試験会場は、東京会場のみです。

② 氏名・押印

氏名とふりがなは、姓と名を分けて記入してください。

受験票ならびに合否通知、認定証は申請による氏名に基づいて発行・発送を行いますので、楷書で正確に記入してください。押印も必ず確認してください。

③ 性別

男性と女性のどちらかを○で囲んでください。

④ 生年月日

生年月日は、和暦のひとつを○で囲み、申込み時点での満年齢を記入してください。併せて西暦も併記してください。

⑤ 本籍地

本籍地は、都道府県までの記入としてください。

⑥ 現住所

発送物が確実に届くように、マンション・アパート名、棟番号、部屋番号を正確に記入し、同居の場合は同居先名を記入し、配達者が確実に分かるように記入してください。

住所には、ふりがなをふってください。

電話番号は、自宅ならびに携帯をお持ちの方は、携帯番号もご記入いただき、確実に連絡がとれる番号の種別(自宅、携帯)を○で囲んでください。

⑦ 都道府県コード

⑥の現住所の都道府県の対応する数字を、次の表から選んで記入してください。

1	北海道	11	埼玉県	21	岐阜県	31	鳥取県	41	佐賀県
2	青森県	12	千葉県	22	静岡県	32	島根県	42	長崎県
3	岩手県	13	東京都	23	愛知県	33	岡山県	43	熊本県
4	宮城県	14	神奈川県	24	三重県	34	広島県	44	大分県
5	秋田県	15	新潟県	25	滋賀県	35	山口県	45	宮崎県
6	山形県	16	富山県	26	京都府	36	徳島県	46	鹿児島県
7	福島県	17	石川県	27	大阪府	37	香川県	47	沖縄県
8	茨城県	18	福井県	28	兵庫県	38	愛媛県		
9	栃木県	19	山梨県	29	奈良県	39	高知県		
10	群馬県	20	長野県	30	和歌山県	40	福岡県	50	外国

⑧ 勤務先

勤務先名称、所属部・課名まで記入し、ふりがなをふってください。住所と電話番号を必ず記入し、直通、代表のどれかを○で囲んでください。書類に不備がある場合など、お問い合わせをすることがあります。平日、確実に連絡がとれる番号をご記入願います。

住所には、ふりがなをふってください。

⑨ 勤務先業種コード

現在の勤務先の業種に該当する番号を、次の表の中から1つ選びご記入願います。いくつもの業種にまたがる場合には、ご本人が担当する職務内容で最も該当する項目を1項目だけお選びください。

いずれにも該当しない場合には、具体的に記入してください。

番号	職種
1	建設業（土木業を除く建設業一般） 関係
2	土木業 関係
3	造園業 関係
4	農業土木、林業関係
5	計画・設計 関係
6	調査・分析 関係
7	教育機関(教職員を含む)・研究機関
8	行政機関(国)・関係機関
9	行政機関(地方公共団体)及び関係機関
10	財団法人・社団法人
11	法人格を有さない市民団体等
12	組合（連合会含む）
13	特定非営利活動法人（NPO）等
14	その他 1～13 に当てはまらない場合、具体的職種を記入してください。

⑩ 最終学歴

最終学歴の学校・学部・学科名および卒業年月日を記入してください。

該当する和暦を○で囲んでください。

⑪ 受験資格

受験資格に該当する項目に○を付けて、卒業年月をご記入ください。

また、自然再生士補の認定を受けている方は、認定を受けた年月をご記入ください。

⑫ 受験票等、郵便物の送付先

受験票（記載住所の確認）と合格通知、申請書類、資格認定証等の送付希望先に○を付けてください。

2) 実務経歴書（様式第2号）

- ① 業務内容については、自然再生、環境保全に関わる事業、業務、ボランティア活動、調査・研究、人材育成（環境教育を含む）に従事した内容とその期間をご記入ください。
- ② 受験資格に必要な実務経験年数以上となることを確認してください。
- ③ 業務・活動等の年数が重複しないように確認してください。合計と実務経験年数が同じになるように注意してください。
- ④ 受験手数料の振込証明書（コピー可）を、貼付欄にのり付けしてください。枠内に収まらない場合は折りたたんでください。

3) 経験論述（様式第3号） **※事前提出が必須です。**

- ① 実務経歴書に記入された経歴の中より1つを選び、規定の用紙に800文字以内で詳しく記載してください。
手書き、パソコンによる清書はどちらでも可とします。
手書きの場合は、楷書により丁寧な文字で記載してください。
1マス目に1文字とし、2文字以上を書き込むことはしないでください。
※規定条件に違反すると、減点となりますのでご注意ください。
- ② 経験論述の内容は、次の項目ごとに簡潔に論述してください。
 - ア. 履行場所と期間
 - イ. 全体的な概要とあなたの役割
 - ウ. 自然再生に係る特徴と、配慮点や工夫点
 - エ. 客観的な自己評価

＜実務の例＞

- ①過去に自然環境が破壊、消失した場所で、潜在的な自然環境、地域文化を理解し、自然環境を再生する事業に携るもの。
- ②公共事業をはじめ、周辺自然環境との連携と保全・育成にかかわる調査、計画、設計、施工、管理、研究に携るもの。
- ③里山環境の保全・育成をとおして地域の自然環境と里山景観の保全、生物多様性の向上にかかわる調査、計画、設計、施工、管理、研究、活動に携るもの。
環境構成としては、山林環境、二次林環境、畑地、水田、道路、河川(水路)等による。
- ④NPO 活動等、フィールドの中で、自然環境の保全・育成活動を通して、保全管理、維持補修活動に携るもの。
- ⑤環境保全・自然再生に関連した講座や、講習会、現場指導を通して人材育成を推進又は環境教育活動を通して自然との係りを推進するもの。

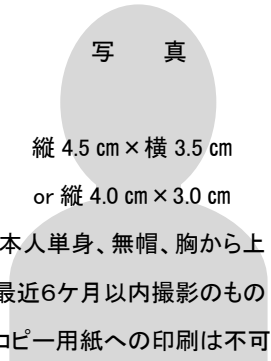
(2) 申込書等の書式

受験申込みに必要な書類は、次頁以降の書式をコピーしてご利用ください。

HP からも入手可能です。URL: <http://www.jpgreen.or.jp/saiseishi/p05.html>

- ・ 自然再生士資格試験申込書（様式第1号）
- ・ 実務経歴書（様式第2号）
- ・ 経験論述（様式第3号）

様式第 1 号

自然再生士資格試験申込書				令和 年 月 日	
受付番号		※	試験会場	1. 東京会場	
ふりがな					 縦 4.5 cm × 横 3.5 cm or 縦 4.0 cm × 3.0 cm 本人単身、無帽、胸から上 最近6ヶ月以内撮影のもの コピー用紙への印刷は不可
氏 名		姓	名		
性 別		男 ・ 女			
生 年 月 日		昭和・平成 年 月 日 (年齢 歳) (西暦 19 年)			
本 籍 地		(都道府県のみ記入)			
現 住 所 (ふりがな)		〒 —			都道府県コード
自宅か携帯か確実に連絡がとれる方を○で囲んでください。		TEL (自宅) — — (携帯) — — FAX — — E-mail アドレス			
勤 務 先	(ふりがな) 名 称				
	所在地 (ふりがな)	〒 —			勤務先業種コード
		TEL — — (直通・代表) FAX — — E-mail アドレス			
最 終 学 歴		最終卒業学校名	学部・学科名	在籍期間	
				年 月 ～ 年 月	
受 験 資 格		該当するものに1つ○を記して、必要事項をお書きください。			
① 四年制大学・大学院卒		【卒業年月】		昭和・平成	年 月
② 短大卒・専門学校卒・高専卒		【卒業年月】		昭和・平成	年 月
③ 高校卒・高等学校卒業程度認定試験合格者		【卒業年月】		昭和・平成	年 月
④ 自然再生士補認定者		【認定年月】		平成	年 月
⑤ 上記の学歴・資格によらない					
受験票等、郵便物の送付先		①自宅(現住所) ②勤務先 ③その他 (←必ず何れかに○をつけて下さい)			

自然再生士資格試験申込書作成上の留意事項

- 様式第 1 号～ 3 号共通
鉛筆以外の青又は黒の筆記用具を使用し、文字は楷書で正確に記入すること。(パソコン等による作成可)
- 様式第 1 号関係
 - ※の欄は記入しないでください。
 - 受験資格は、該当するものに○を付け、受験に必要な実務経験年数を有することが条件となります。
 - 受験票等、郵便物の送り先に必ず、葉書に記載した住所を確認の上、送付を希望する番号に丸をつけてください。

実務経歴書

事務所又は勤務先 (部・課まで)	所在地 (市区町村まで)	地位 職名	実務内容	従事期間		
				年・月～年・月	年月数	
				年 月 ～ 年 月	年	ヶ月
				年 月 ～ 年 月	年	ヶ月
				年 月 ～ 年 月	年	ヶ月
				年 月 ～ 年 月	年	ヶ月
				年 月 ～ 年 月	年	ヶ月
				年 月 ～ 年 月	年	ヶ月
				年 月 ～ 年 月	年	ヶ月

＜受験手数料の振込証明書貼付欄＞

※実務内容については、自然再生、環境保全に関わる事業・業務・活動・調査・研究・人材育成(環境教育を含む)に従事した内容とその期間をご記入ください。

※受験資格に必要な実務経験年数以上となることを確認してください。

※実務経歴書に記入された経歴の中より、アピールする事業・業務・活動・調査・研究・人材育成(環境教育を含む)を 1 つ又は 2 つ選び、**様式第 3 号 自然再生士資格試験 経験論述**に詳しく記載して提出してください。

氏 名

<注意事項>

- ① 横書きで記入してください。
② 800 字程度（記入用紙 2 枚）で記入してください。

[illegible]

令和3年度自然再生士資格試験 受験の手引き

発 行 令 和 3 年 3 月

発行人 矢 嶋 進

発行所 一般財団法人 日本緑化センター
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル
TEL 03-3585-3561 FAX 03-3582-7714
メールアドレス：saisei@jpgreen.or.jp
ホームページ：<http://www.jpgreen.or.jp>
